

宮内昭先生のLight of Life Honor賞受賞について

隈病院院長 宮内昭先生が、本年6月21日Light of Life Foundationの2016年度のLight of Life Honor賞をニューヨークにて受賞しました。このFoundationはMemorial Sloan Kettering Cancer Centerで治療を受けた甲状腺癌の患者達が約20年前に創立した財団であり、Light of Life Honor賞は、毎年、内分泌・核医学・基礎医学および外科の4分野から順番に一名、甲状腺癌に関して顕著な貢献のあった医師に与えられる賞です。アメリカ・ヨーロッパ以外の医師に授賞されるのは初めての事であり、外科医師としては2000年のO. Clark教授、2004年のS. Wells教授、2008年のN. Thompson教授、2012年のH. Dralle教授に続く5人目の受賞となりました。翌22日には受賞講演として、Memorial Sloan Kettering Cancer CenterでMartin Sonenberg Named LectureshipのVisiting Professorとして「From the proposal and initiation to the outcomes: Active surveillance of low-risk papillary microcarcinoma of the thyroid」の講演を行いました。その講演は、全米でも最高位の評価を受けている同センターの医師たちより極めて高い評価を受けました。

この栄誉は、隈病院で1993年から世界に先駆けて取り組んできた、低リスク甲状腺微小乳頭癌の積極的経過観察が高い評価で受け入れられたことによるものと思われます。

日本の甲状腺内分泌外科医にとって、大変名誉なことであり、日本内分泌外科学会会員の皆様にお知らせ申し上げます。

Light of Life Honor賞受賞者リスト

E Mazzaferri (1999, Endo)
O Clark (2000, Surgery)
M Schlumberger (2001 Nuclear Med)
B Weintraub (2002, Basic science)
F Pacini (2003, Endo)
S Wells (2004, Surgery)
J Robbins (2005, Nuclear Med)
M Santoro (2006, Basic science)
A Pinchera (2007, Endocrinology)
N Thompson (2008 Surgery)
Christoph Reiners (2009 Nuclear Med)
Nancy Carrasco (1020, Basic science)

Rosella Elisei (2011 Endocrinology)

Henning Dralle (2012 Surgery)

Ross McDougal (2013 Nuclear Med)

Y Nikiforov (2014, Pathology/Basic Science)

I Hay (2015, Endocrinology)

Akira Miyauchi (2016, Surgery)

日本内分泌外科学会理事長

鈴木眞一